

平成 29 年度第 1 回地域協議会議事録

【日 時】平成 29 年 6 月 27 日（月）13 時 30 分～14 時 45 分

【場 所】群馬中央病院別館 2 階大会議室

【議 事】1. 院長あいさつ

2. 議事

1) 平成 28 年度事業報告

2) 平成 29 年度事業計画

3) 協議

【委 員】

川原 武男（群馬県健康福祉部長）、倉嶋 敬明（前橋市副市長）

蛭川 勝美（前橋市消防局長）、川島 崇（群馬県医師会副会長）

田中 義（前橋市医師会会長）、家崎 桂吾（前橋市医師会病診連携担当理事）

西田 保二（群馬県済生会前橋病院病院長）、荻原 京子（群馬県看護協会専務理事）

下山 常吉（紅雲町一丁目自治会長）、久我 全治（浅香運輸取締役）

田代 雅彦（JCHO 群馬中央病院院長）、北原 陽之助（JCHO 群馬中央病院副院長）

寺内 正紀（JCHO 群馬中央病院副院長）、内藤 浩（JCHO 群馬中央病院副院長）

江連 正彦（JCHO 群馬中央病院事務部長）

茂木 香里（JCHO 群馬中央病院看護部長）

山賀 章一（JCHO 群馬中央病院薬剤部長）

【概要】

1. 院長あいさつ

今年度、1 回目の地域協議会を開催させていただきます。次第にあるように平成 28 年度の事業報告、今年の計画等について話をし、また、委員の方々からはご意見をいただき、本日の議題を進めていきたいと考えております。それでは宜しく申し上げます。

2. 議事

1) 平成 28 年度事業報告

田代議長：それでは平成 28 年度事業報告について江連事務部長お願い致します。

事務部長：前年対比で、経常収益は 94,076 千円の増収となっています。経費については、同じく前年対比で 142,781 千円の増加となっています。理由としては人件費の増加が大きいです。平成 28 年度の収支については 43,077 千円の黒字でという結果でした。続いて入院患者の推移です。入院患者は 1,854 人増、1 日当たりの患者数は 5.7 人の増加となっています。これは地域包括ケア病棟の影響と考えられます。地域包括ケア病棟のみの患者数は、平均 83.6%の稼

働となりました。初年度としては順調と考えています。科別の入院患者数については、外科の患者数の減と消化器内科の患者数の増については、消化器内科の医師が増員したため、いままで外科で行っていた検査などがスライドした結果と考えています。平均在院日数は11.3日となっており、これも地域包括ケア病棟の影響と考えています。外来患者数の推移については7,500人の減となっている。これは逆紹介推進の結果と考えている。紹介率は67.6%。逆紹介率は84.1%。ひきつづき地域との相互理解によって適切に進めたいと思います。入退院センターについては、まだ一部の診療科に限り、対応している状況です。集約化によって「業務の効率化」と「患者サービスの向上」を図ることが目的です。

田代議長：何か質問はありますか。

田中委員：入院患者数について、高齢者できれば認知症の割合について教えてほしい。

北原委員：割合については不明です。認知症患者は一定数いる。紹介された患者さんで認知もある方というのはいますので、できる範囲で対応、受入れしている。

内藤委員：入院時に総合評価スクリーニングをしています。そこで問題があった場合は対応しています。

川原委員：2月が延べ7,140人で1日あたり255.0人。3月は7,519人で242.5人というのはどうしてですか。それと在院日数のところ、地域包括ケア病棟を抜いた数字はいくつですか？入退院センターは新入院患者の増加を目的としているのでしょうか。具体的な効果は？

田代議長：日数の影響です。28日と31日なので。入退院センターは患者の増加が目的ではなく、患者の利便性向上が目的です。

内藤委員：患者さんにとってワンストップサービスと病棟看護師の業務負担軽減が目的です。また、退院調整部門との情報共有なども行っています。

川原委員：職員は増員しましたか？

田代議長：いえ、配置換えです。

2) 平成29年度事業計画

内藤委員：DMセンターを予定通り開設しました。開業医さんとさらに連携を進めたいと思います。主治医は開業医の先生ということで、数カ月には一度は当院で見ます。それと小児外科をはじめています。現在は外科の一部で診療しています。常勤1名なので限りがありますが、手術もできます。

総合事業については、JCHO本部から声がかかり、損保ジャパンに協力する形で行います。運営は民間に委託して、医療・介護から保険外サービスも含めて対応する総合窓口を設置する予定です。

医師確保の取組みということで、初期研修医PGを全面的に見直しを行い、

新しく後期研修のPGも作りました。後期研修は、東京のJCHO病院から話があり、そちらで主に総合内科研修を実施してもらう予定です。ただ規模の問題で当院が基幹、東京の病院がランチとなっています。東京から群馬へ医師を連れてくるのができたらよいと考えています。JCHO版ホスピタリスト育成プログラムについては、後期研修を終了した卒後6年目以降の医師を対象に、病院総合医、僻地で活躍できる医師、開業を目指す医師の育成を目的として、2から3年の期間をJCHOの病院で研修してもらうプログラムとなっています。

特定看護師については、県内の施設は少ないと思いますが、当院はJCHOグループが主導して全体で取り組んでいます。

3) 協議

田代議長：今までの話したことも含めて何かありますか。

川島委員：研修医は何名ですか？

田代議長：今年度、採用は1名でした。「たすきがけ」がいますので、全くの1人というわけではないです。

川島委員：大学とかいろいろありますが、頑張らないと。さきほどの取組みなど、今後とも頑張ってください。

田中委員：地域包括ケア病棟と一般病棟の使い分けはどうなっていますか。

田代議長：地域包括ケア病棟は、慢性期の方も入ったりしますが、いま多いのは整形外科のオペ後患者です。

田中委員：そうですね。老人は入院すると寝たきりになってしまいがちで、在宅になかなか返せないことがある。

田代議長：そういうこともあります。現在は整形がメインという状況です。

家崎委員：群中に地域包括ケア病棟ができたと聞いて少し期待していました。話を聞いて、名ばかりという印象を受けます。実際は整形の回復期という使い方ですね。担当医はどのようになっていますか。

田代議長：急性期の主治医がそのままです。

家崎委員：他科については、内科などはどうですか。

北原委員：直接、地域包括ケア病棟に入院する患者さんもいますが、紹介患者さんだと、肺炎などの急性期として入院の依頼が多い。急性期病棟に入ることになりません。

家崎委員：まず、急性期に入ってからその後地域包括ケア病棟ということですか。

北原委員：はい。ご希望があれば、対応を考えます。

家崎委員：入退院センターはいい考え。頑張ってもらいたいです。

清水委員：日頃から救急について協力して頂き感謝しています。現在、前橋市の搬送件

数は前年対比で423増となっており、このままでは（前年対比で）1000件ほど増加する見込みです。そういった状況のなかで、直通回線の設置は非常に助かります。

田代議長：少し遅くなってしまいましたが、今後もよろしくお願いします。

荻原委員：特定行為に係る研修定員は？

茂木委員：JCHO本部が主導して取り組んでおり、当院はDM、感染等を登録しています。今年度は5名です。来年度も募集をするが、本部の方針でJCHO内からの申込みとなっています。

川原委員：毎年5名ということですか。

茂木委員：今年は5名ですが、来年度はまだわかりません。

川原委員：ホスピタリストも同じ（JCHO内からの申込み）ですか。

内藤委員：外部からでも大丈夫です。

田代議長：ホスピタリストは、幅広いシステムです。6年目以降・・20年目以降でもいい。

中島委員：救急について協力ありがとうございます。利用者の立場として伺いますが、待ち時間の対策は何かしていますか。それと日赤の移転について影響があるかというところを教えてください。

田代議長：待ち時間調査を年に2回している。工夫はいろいろしているが、各科で差があります。当院は入院患者に対して外来患者が多い病院です。待ち時間対策だけでなく、外来患者については、減らしていく方向だが、少し苦労している。日赤の移転についてはよくわからない。大きく変わることはないと思っている。移転後、当院は群馬大学と日赤の中間に位置することになるが、どうなるか。

西田委員：入退院センターについて、当院は退院調整がメイン。検討しているが、なかなか場所もなく悩みどころです。参考までに詳しく教えてください。

田代議長：本館一階のロビーにあります。とりあえず仮住まいです。当院も場所がない状況です。

西田委員：どう工夫しているのか見せてもらえますか。それと災害対策についてですが、当院も拠点病院としてBCP計画等を作成しています。いろいろ考えてみると、他施設の協力がなければ対応できないところがある。協力して進めたいと思います。

田代議長：こちらこそぜひお願いします。当院でも始まったばかりです。教えてください。

下山委員：総合窓口ができれば、より地域に密接した病院になると思います。助かります。以前から続けている講演会なども、今後も宜しくお願いします。

内藤委員：われわれ医療者でも、家族が入院した時に困ることがありますから、助けになればよいと思います。講座も続けていきたいと思っています。

下山委員：いままでも大変参考になっています。講座の内容について、こちらから取り上げてほしいこともあります。

久我委員：外来通院していて、入退院センターができたためか、会計のあたりが少しせまくなって、案内版が少し見づらく感じます。今後対応してもらえればありがたいです。

田代議長：入退院センターは仮住まいなのですが、検討したいと思います。

家崎委員：総合窓口は7月から開始ですか。

内藤委員：そういう予定です。

家崎委員：窓口の担当はどういった方ですか。非常に特殊な知識が必要と思いますが。

内藤委員：損保ジャパンが県内の事業所と契約しており、そこから経験豊富な方を1名配置してもらえることになっています。

田代議長：他になければ、本日はこれで終わりにしたいと思います。委員の皆様、今日は有難うございました。